TEAM MINOBU JUNIOR HIGH SCHOOL
チーム身延中

令和８年度 身延中 学校だより
発行者：校 長 小田切 武

NO.9 2026年10月26日

１年間の折り返し！

今年度の折り返しとなりました。10月のヤマと言われるように、学校現場では、学園祭や運動会などの大きいイベント後には、児童生徒はもとより教職員も気持ちが抜けてしまいがちで、様々なトラブルが出てきやすい時期ということから、新たな目的を持って教育活動に当たるよう生徒と共に自ら鼓舞して取り組んでいます。3年生は教育課程到達度確認検査（教達検）があり、本格的に進路選択をしていく時期となりました。1，2年生は、自分たちが中心となって新人戦を迎え、練習の成果を発揮し、県大会出場するなど、好成績に繋がっています。後半も「チーム身延中」でしっかりと取り組んでいきたいと思います。

■ 新人戦激励会



10月1日（木） 新人戦の激励会が行われました。新人戦は支部予選があるソフトテニス、バレー、野球や県大会オープン参加のバドミントン、柔道等があります。総体とは違い、新人戦は今年度から峡南地区大会として全ての部が実施するわけではないため、土日開催となり、賞状もでないわけですが、1，2年生に代替わりしてからの大きな大会であることに違いはないので、全校で激励会を行いました。先輩の熱い応援に後押しされ、心強い気持ちになれたと思います。

■ 新人戦大会








10月3日（土）4日（日）ソフトテニス（男子：富士川利根川公園、
女子：身延中）野球（アルカディア南部）、
11日（日）バレーボール（市川三郷 if センター）
17日（土）18日（日）野球（小瀬・南アルプスジットスタジアム）・
バドミントン・陸上競技（小瀬）、柔道（小瀬：18日のみ）
1，2年生が主体となる初めての公式大会である県新人戦が上記日程で行われました。どの部も日頃の練習の成果を発揮し勝敗はともかく、格段に上達している様を見ることができてとても嬉しく感じました。緊張感もありながら、どの部も気持ちを強く持ち、精一杯最後まで戦っていたのがとても印象的でした。特に男子ソフトテニス部の個人戦決勝戦では、フルセットで10回ほどデュースになりましたが、最後は勝ちきりました。見ている方が、胃が痛くなる思いをしましたが、困難に直面したときに乗り越えられる力（レジリエンス）が部活動を通して着実に培われているのを感じました。




バドミントン 1，2年大会２年ダブルス（D）Ｂ級男子３位 渡邉さん・遠藤さん
女子２位 内藤さん・宮川さん ３位 畑野さん・山田さん
２年シングルス（S）Ｂ級男子１位 渡邉さん ３位 遠藤さん
女子３位 宮川さん
（峡南地区）新人大会 女子Ｄベスト８ ２年 内藤さん・宮川さん
野球 県新人大会 ①○１８－１市川・富士川、②○９－０甲府北東、③●２－７韮崎東
バレーボール（峡南地区）新人大会団体３位①○２－１富士川、②●０－２南部、③●１－２市川
ソフトテニス（峡南地区）新人大会男子団体１位 男子２年優勝 松木さん・片田さん＊県大会出場
３位 米澤さん・小林さん＊県大会出場
（峡南地区）新人大会女子団体３位 女子２年５位 山田さん・飯島さん＊県大会出場
陸上 県新人陸上競技大会共通女子円盤投３位 ２年 望月さん＊南関東大会出場

■ 中学生防犯弁論県大会



10月1日（木） 南部警察署管内の弁論で最優秀となり、県大会に出場した3年生の渡邉さんが、双葉のふれあい文化館で発表をしてきました。県内から集まった代表者の一人としてとても堂々としたよい発表ができました。思いが防犯につながることを願っています。

■ 全校一斉読書



10月5日（月） 今年度3回目の一斉読書を1時間目に行いました。各クラスに学年が混在して座り、読書をしてから、小グループごとに本の紹介をし合いました。発表内容を聞いて、興味をもったり読んでみたいなと思わせてくれたりするものがいくつもありました。

■ 思春期体験学習（3 年生）



9月30日（水）・10月9日（金） 本年度も3年生を対象として「生命の大切さ」「妊娠・出産・育児」について学ぶ思春期体験学習が行われました。事前学習として、「中学生に伝えるいのち」と題して思春期保健相談士の福田先生がお話や妊婦体験をしていただきました。3年生はこれまでの自分について振り返ったり、これからについて考えたりできた貴重な時間となりました。この事前学習に引き続き、プレ実習として、人形を使い赤ちゃんを抱っこしたり着替えさせたりという体験や妊婦の体験をした後、実際に母親と赤ちゃんが来校して、お話をきいたり、赤ちゃんを抱っこさせてもらったりしました。赤ちゃんの感触に感激したり、母親の話に頷いたりして、一人一人が真剣に参加していました。

■ 第1回教育課程到達度確認検査（教達検：3年生）



10月6日（火） 第1回の教育課程到達度確認検査がありました。3年生にとっては、進路選択していく上での判断材料になる大切な検査です。今年度より公立高校の入試の時間が変更になり、思考力・判断力・表現力を問う出題に対して読解する時間が必要であることから、国語以外の教科で5分増え50分の検査時間となりました。それに合わせて本校も休み時間を15分間設定し、その間に問題を配付してしっかりと問題を解く時間を確保して行いました。どの時間も精一杯最後まで取り組んでいました。比較的例年に比べて難しかったようです。振り返りをしっかりとして2回目に備えてほしいと思います。

■ 身延高校ライフミュージアム





10月8日（木） 身延高校で14日まで「ライフミュージアム」が開催されました。玄関を入ると中高連携で作成した「驚き発見の木」が目を引きます。また、2，3階には本校の授業で制作した様々な作品や文化部の作品、南部中や身延高校、地域の方々の作品等が展示してありました。

■ 峡南地区英語暗唱大会

10月14日（水） 中富総合会館で峡南地区の英語暗唱大会が行われました。1年生の日向さん、前澤さん、2年生の望月さん、3年生の佐藤さんが出場しました。大会まで毎日ALTを含む英語科の先生方と一緒に練習を重ねてきました。当日は緊張していた様子もありましたが練習の成果を十分発揮し、とてもよい発表をすることができました。







■ 2学期中間テスト



10月15日（木） 2学期最初の定期テストが行われました。真剣に問題に取り組んでいる様子が窺えました。答案用紙返却後、学習したことの成果が現れていたらよいのですが、思いのほか成果につながっていないようならば、学習方法を変えてみる必要があります。できなかったところをそのままにせず、しっかりと振り返りをして期末テストに生かしていってほしいと思います。

■ 未来の科学者訪問セミナー（2年生）





10月21日（水） 「未来の科学者訪問セミナー」として、2年生対象に山梨大学大学院クリスタル科学研究センターの綿打敏司教授を招聘し、大学院生2名がサポートに入って「液体窒素で極低温の世界を体験」の授業をしていただきました。0℃以下の低温の世界は－273.15℃までしかない絶対温度についてお話を伺い、生徒は驚いていました。低温では電流が流れやすい性質があることから、純度の高い金属を低温にすることで抵抗率が下がり、超伝導になること、超伝導は完全反磁性があり反発する性質から、磁場が強くなると混合状態となって磁石が浮いたような感じになることを、液体窒素で冷やすことでその性質を視覚的に示していただきました。この性質を用いて MRI や一部リニアモーターカーなどにも使われているというお話を分かりやすく教えていただき、生徒は新たな世界を垣間見て、目を丸くして驚いている様子でした。綿打先生は石川県の公立小中高校から、東京大学に進学されたとのことで、志を持つことの大切さ、突然のチャンスも生かせるような準備が大事であることから今を一生懸命に、そして何かを達成したその後がもっと大事であると、学び続けることの大切さも本時の授業を通して教えていただきました。

ライオンズクラブより寄付金をいただきました。



身延町のライオンズクラブより、創立60周年記念事業として、町内の学校へ寄付金の贈呈がありました。本校も旅館・田中屋の会長さんから受け取りました。大切に使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。

＊個人情報保護の観点から生徒氏名は苗字だけにしていることを申し添えます